

もう一度確認しましょう

1001891

健康診査やがん検診の受け忘れはありませんか

今年度の受診期間は12月までです。自分のために、家族のために、健康診査やがん検診を受けましょう。

各検診の案内 下表のとおり

	受診の頻度	対象者	期間
健康診査 (特定・後期高齢・沼田市健診)	毎年	・40～74歳の国民健康保険加入者 ・75歳以上の人	12月まで
各種がん検診 (大腸・前立腺・子宮頸・乳がん) ※肺・胃がん以外	毎年 ※子宮頸・乳がんは2年に1回	・40歳以上の人 ・子宮頸がんは20歳以上、乳がんは40歳以上の偶数年齢の女性	

受診場所 医療機関(個別検診)

※年末に受診を検討している人は、医療機関に問い合わせください

問合せ 健康課予防係 ☎内線3170



(写真)「令和5年度検診等のお知らせ」を確認しましょう

その他

- 定期通院中の方は受診の可否について自己判断せず、かかりつけ医に相談しましょう。特に健康診査は、定期通院中の方も受診対象となっています
- 胃がん検診
 - ・内視鏡(胃カメラ)検査は、来年2月までです(受診シールを持参の上、健康課窓口で要事前申請)
 - ・バリウム検査は、11月で終了しました
- 肺がん検診は、10月で終了しました
- 受診シールが見当たらない場合は再発行します

12月20日(水)～1月10日(水)の3週間

年末年始火災予防運動

空気の乾燥とともに各家庭での火気の使用頻度が高まり、火災が発生しやすい季節となりました。加えて、年末年始は何かと忙しく、注意力が散漫になりがちです。火災のない年末年始を迎えるため、今一度、火の元の確認をしましょう。

住宅防火 いのちを守る10のポイント (6つの対策・4つの習慣)

— 6つの対策 —

- 1 ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用
- 2 住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換
- 3 部屋を整理整頓し、寝具や衣類、カーテンは防炎品を使用
- 4 消火器などを設置し使い方を確認
- 5 避難経路の確保と避難方法の確認
- 6 防火防災訓練の参加などで、地域ぐるみの防火対策を行う

— 4つの習慣 —

- 1 寝たばこを絶対にしない、させない
- 2 ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

令和5年度防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

令和5年度中央防火協会防火ポスター 優秀作品



沼田西中2年 兼原琉宇さん

沼田中1年 渡邊泰良さん

沼田北小6年 五嶋一花さん

升形小1年 竹内蓮音さん

問合せ 地域安全課防災安全係 ☎内線4021